



## 平成26年度第1回(通算152回) 技術情報交換会のご案内

恒例によりSAMPE Japan総会に引き続いて、平成26年度第1回技術情報交換会を開催します。平成25年度の「協会特別賞」を受賞されました東京大学武田展雄教授および高橋淳教授のお二方に受賞記念として、複合材料の未来に向けての提言をご講演頂きます。皆様にとって示唆深い内容を語って頂けると思います。ご期待ください。

合わせてCFRPの最新動向に関し、3月に開催されましたSEICO 2014とJEC Europe 2014および6月に開催されたSAMPE Seattle 2014の内容について、長年継続して出席しウォッチしておられる石川源様と木村学様よりご紹介を頂きます。

総会と合わせ会員の皆様の多数の出席をお願い致します。

### 記

1. 日 時:平成26年7月24日(木) 14:00~19:00
2. 会 場:東京大学 山上会館 大会議室  
会場までのアクセスについては次ページの案内地図をご参照下さい。
3. 参加費:正会員・賛助会員:8,000円、学生会員:4,000円、非会員:11,000円  
参加費は参加申込時に『三菱東京UFJ銀行 鎌倉支店(普)1276101  
先端材料技術協会』に振込料自己負担でお振込戴くか当日会場受付でお受け致します。
4. 参加申込:別添の申込用紙に所要事項をご記入の上、メールあるいはFAXにて協会事務局にお送り下さい。

定員は80名ですのでご確認は下記宛にご連絡下さい。

Tel: 03-5981-9824、Fax:03-5981-9852、E-mail:[g001sentan-mng@ml.gakkai.ne.jp](mailto:g001sentan-mng@ml.gakkai.ne.jp)

### 【プログラム】

- 14:00~14:10 会長挨拶 東京大学大学院工学系研究科  
環境海洋工学専攻 教授 影山 和郎 様
- 14:10~15:10 特別講演 「複合材料構造のヘルスマニタリングからライフサイクルモニタリングへ」  
東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授  
革新複合材学術研究センター(TJCC) センター長  
武田 展雄 様

次世代航空機に、より多くの複合材料が使用されていくには、複合材料構造の安全性確保や保守・点検性の向上が不可欠であり、構造ヘルスマニタリング技術の必要性が指摘されてきた。本講演では、まず、光ファイバセンサを用いた航空機構造用ヘルスマニタリング技術の現状を明らかにする。また、高生産性複合材構造の



## Society for the Advancement of Material and Process Engineering

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨 1-24-1 第2ユニオンビル4F (株)ガリレオ内 先端材料技術協会  
Tel:03-5981-9824 Fax:03-5981-9852 E-mail:g001sentan-mng@ml.gakkai.ne.jp URL:www.sampejapan.gr.jp

品質保証に役立つ、埋込光ファイバセンサ利用成形モニタリング技術、及び、ライフサイクルモニタリング技術の研究開発について述べる。

15:10～15:40 「欧州の最新状況－SAMPE-EU”SEICO 14”およびコンポジットショー”JEC2014”」  
(株)エーシーエム 顧問 石川 源 様

3年前より継続して開催している SAMPE Japan パリ特別例会 (SAMPE Europe 国際会議”SEICO”および世界最大のコンポジットショー”JEC Europe”視察) に総勢 15 名で参加した。JEC ショーは昨年比2割以上増の約 1250 社の出展という規模、”低コスト製造”を目的とした、OOA(脱オートクレーブ)、熱可塑、自動化(ロボット)などの最新情報とともに、SAMPE 特別例会の内容を紹介する。

15:40～16:20 「SAMPE TEC 2014 Seattle 報告」  
6月2日～5日 米国ワシントン州 シアトルで開催  
(株)ジー エイチ クラフト 会長 木村 學 様

今回のテーマは Airbus と Boeing ほか BMW の i シリーズも Composite 量産が本格稼働している事から、そこで課題となっているかなり現実的な技術やそれともなう装置などが中心であった。また 通称3D プリンター、Additive manufacturing が新たな段階に進みつつあり、それらを紹介する。

16:20～16:30 休憩

16:30～17:30 「複合材料の未来に向けて」  
東京大学 大学院工学系研究科  
システム創成学専攻 教授 高橋 淳 様

大学での専攻は機械工学、博士論文は金属(しかも原子炉圧力容器や配管)の破壊現象であった。一転して、つくばの産総研での8年間は、C/C コンポジット→知的構造→LCA→リサイクル→海外赴任→霞ヶ関出向とめまぐるしく、その後、量産車用 CFRTP というテーマに出会った。これらを振り返り、今後について思うことにご意見いただきたい。

17:30～19:00 懇親会 山上会館地下1階 食堂にて  
講師、参加者相互の情報交換の場としてご活用下さい。



# Society for the Advancement of Material and Process Engineering

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨 1-24-1 第2ユニオンビル4F (株) ガリレオ内 先端材料技術協会  
Tel:03-5981-9824 Fax:03-5981-9852 E-mail:g001sentan-mng@ml.gakkai.ne.jp URL:www.sampejapan.gr.jp

会場へのアクセス:

